

1980 (毎月1回) 発行

11月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(昭和55年10月1日現在)

村の人口

総人口 1,574人

男 807人

女 767人

出生 1人

死亡 0人

転入 4人

転出 12人

世帯数 483世帯



灯油の貯蔵取扱いについて

大野地区消防署和泉分遣所

暖房用白灯油が必要な季節となりましたが、一般家庭における灯油類の貯蔵取扱いについては、消防法及び大野地区消防組合火災予防条例で、次のように規制されています。

- 灯油を建物内に貯蔵する量が一〇〇ℓ以上一五〇〇ℓ未満の場合は、火災予防条例により届け出て、内装を不燃材料で囲った置場の設置が必要です。
- (ℓ) で購入し、家の軒下や物置などに無届で貯蔵することは違反となり、処罰を受けることがありますので、十八ℓ缶を五本までにするか、置場を設けて貯蔵するなどの

第三十二回人権週間

十二月四日～十日

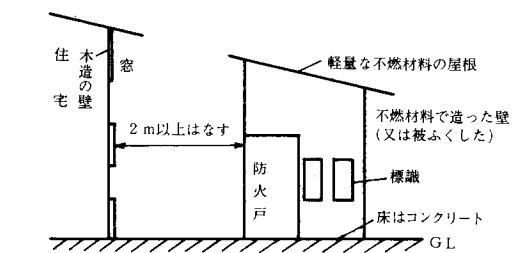
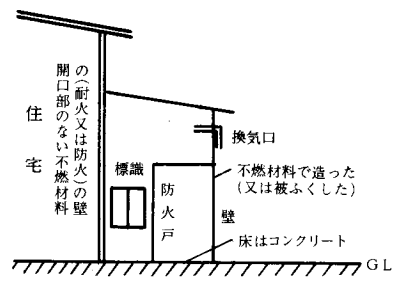
私たちが、幸福な社会生活を営むためには、全ての人が基本的人権の真の意味を深く理解し、日常生活の中においてお互いがこれを尊重し、守り合う気持がなにより大切なことではないでしょうか。

法務局と人権擁護委員では次の四点を人権擁護の重要なテーマとして掲げ、皆さんに深く理解していただくために呼びかけております。

人権の共存—互いに相手の

処置をしてくださるようお願いいたします。

なお、置場を設ける場合の届出書は、和泉分遣所(役場内)にあります。



十一月二十七日から
「夜間割引」対象時間拡大
大野電報電話局

◆深夜割引の実施

六十キロメートルを超える区間について、午後八時から翌日午前七時まで夜間割引(四割引)を実施していますが、三百二十キロメートルを超える遠距離区間について深夜時間帯にさらにもう一段の割引を行い、午後九時から、翌日午前六時までの間深夜割引(六割引)を実施することになりました。

(一〇〇番通話など、交換手扱い通話を除く)

◆対象時間の拡大

六十キロメートルを超える区間について実施している夜間割引の時間帯を前後それぞれ一時間づつ拡大し、午後七時から、翌日午前八時までになりました。

(一〇〇番通話など、交換手扱い通話を含む)

◆実施の時期

昭和五十五年十一月二十七日午後七時から実施します。

市外通話は、当該時間帯にご利用いただけると大変おとくです。

「婦人の十年」と定められ、本年は中間年にあたります。そこで、私たちが日常生活

における婦人の地位について深く考え、男女平等の基本理念に立って、真剣に婦人の地位向上を図るよう努力しなければなりません。

封建的因習の解消—差別のない明るく住みよい社会をつくらう—

こんなときは、法務局又は人権擁護委員へご相談ください。

○名誉、信用を傷つけられたとき

氏名	住所	電話
新井千代子	川合	二〇六九
宇野重豊	下山	二四三七
長岡昇一	上大納	二七〇一

本村の人権擁護委員

○その他基本的人権が侵害されたとき

○居住権、生活権、営業権の侵害

○近隣でのめんどごと、いやがらせ

○人権相談所開設日程

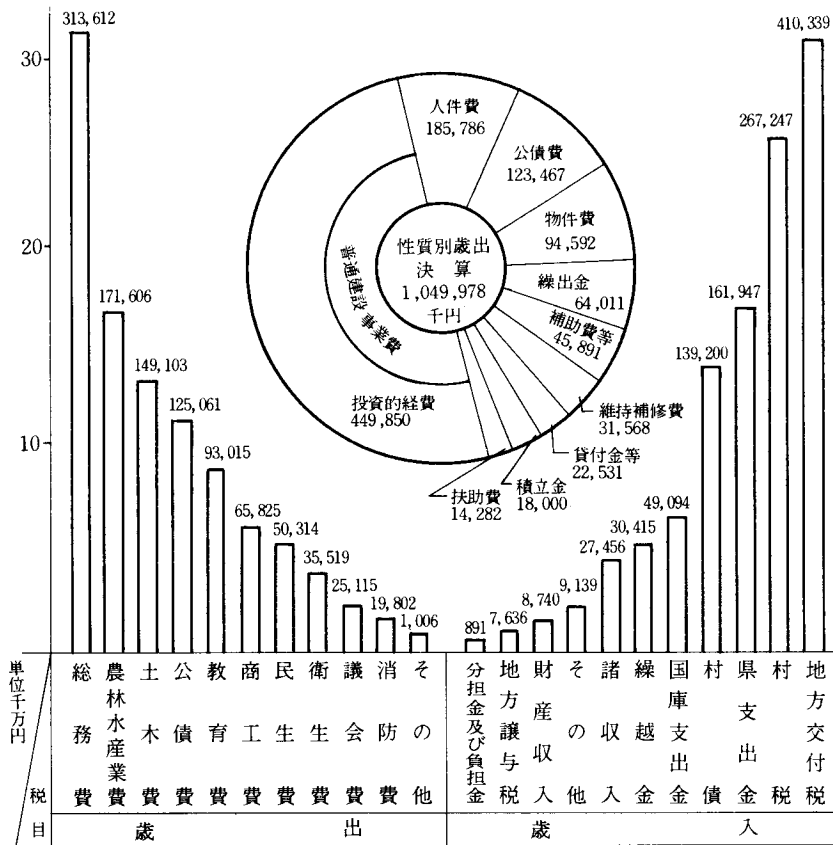
日時 十二月八日(月)

午前九時～正午まで

場所 和泉村老人福祉センター

昭和54年度一般会計決算状況

歳入決算額 1,112,104千円
 歳出決算額 1,049,978千円
 歳入歳出差引残高 62,126千円



和泉村財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより村の財政事情を公表します。

今回は、昭和五十四年度決算と、昭和五十五年度上半期の財政運営状況について、そのあらましを説明します。

この財政事情は村民の皆さんに村財政の現況をお知らせ

財政事情の公表

し、その実態と村政の動きを充分認識していただくものがあります。

今後とも、村政発展のため一層のご協力をお願いします。

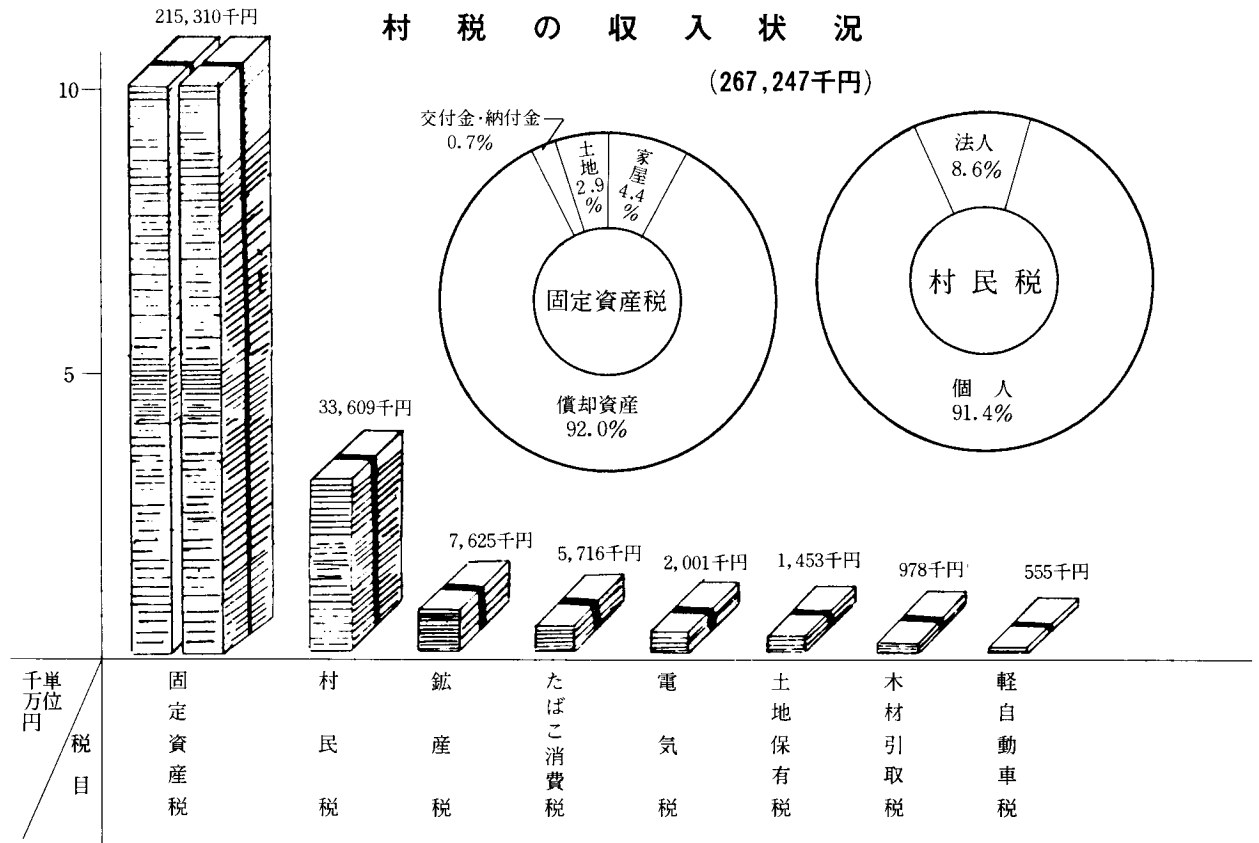
昭和五十五年十一月一日

和泉村長 新井一雄

昭和54年度和泉村会計別決算総括表

(単位：円)

会計名	区分	予算額	決算額	予算額に対する決算額の比較増減額	予算額に対する決算額の比率(%)
一般会計	歳入	1,088,746,000	1,112,104,444	23,358,444	102.2
	歳出	1,088,746,000	1,049,977,589	△ 38,768,411	96.4
	差引残高	0	62,126,855	翌年度へ繰越	
簡易水道事業特別会計	歳入	23,721,000	23,729,164	8,164	100.0
	歳出	23,721,000	23,531,177	△ 189,823	99.2
	差引残高	0	197,987	翌年度へ繰越	
国民健康保険事業特別会計	歳入	37,251,000	37,366,415	115,415	100.3
	歳出	37,251,000	33,333,441	△ 3,917,559	89.5
	差引残高	0	4,032,974	翌年度へ繰越	
診療所事業特別会計	歳入	23,163,000	23,260,923	97,923	100.4
	歳出	23,163,000	22,303,172	△ 859,828	96.3
	差引残高	0	957,751	翌年度へ繰越	
農業共済事業特別会計	歳入	6,448,000	6,401,162	△ 46,838	99.3
	歳出	6,448,000	6,084,139	△ 363,861	94.4
	差引残高	0	317,023	翌年度へ繰越	
村営スキー場事業特別会計	歳入	48,198,000	47,977,558	△ 220,442	99.5
	歳出	48,198,000	47,608,654	△ 589,346	98.8
	差引残高	0	368,904	翌年度へ繰越	



既往各年度の歳入歳出比較表

一般会計 (単位 千円)

年 度	予 算 額 (A)	歳 入 (B)										計	
		一 般 財 源				税 外 収 入							
		税 収 入		地 方 交 付 税		地 方 債		国(県)支 出 金		そ の 他		金 額	B/A
		金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%		
50	948,766	288,226	30.1	170,015	17.7	138,400	14.4	210,118	22.0	151,526	15.8	958,285	101.0
51	794,866	265,100	32.6	173,313	21.3	132,000	16.3	137,601	16.9	105,034	12.9	813,048	102.3
52	1,063,372	257,006	24.3	262,048	24.8	144,700	13.7	273,477	25.9	119,121	11.3	1,056,352	99.3
53	1,259,667	251,949	20.1	349,242	27.8	230,600	18.3	262,818	20.9	162,772	12.9	1,257,381	99.8
54	1,088,746	267,247	24.0	410,339	36.9	139,200	12.5	210,825	19.0	84,493	7.6	1,112,104	102.2

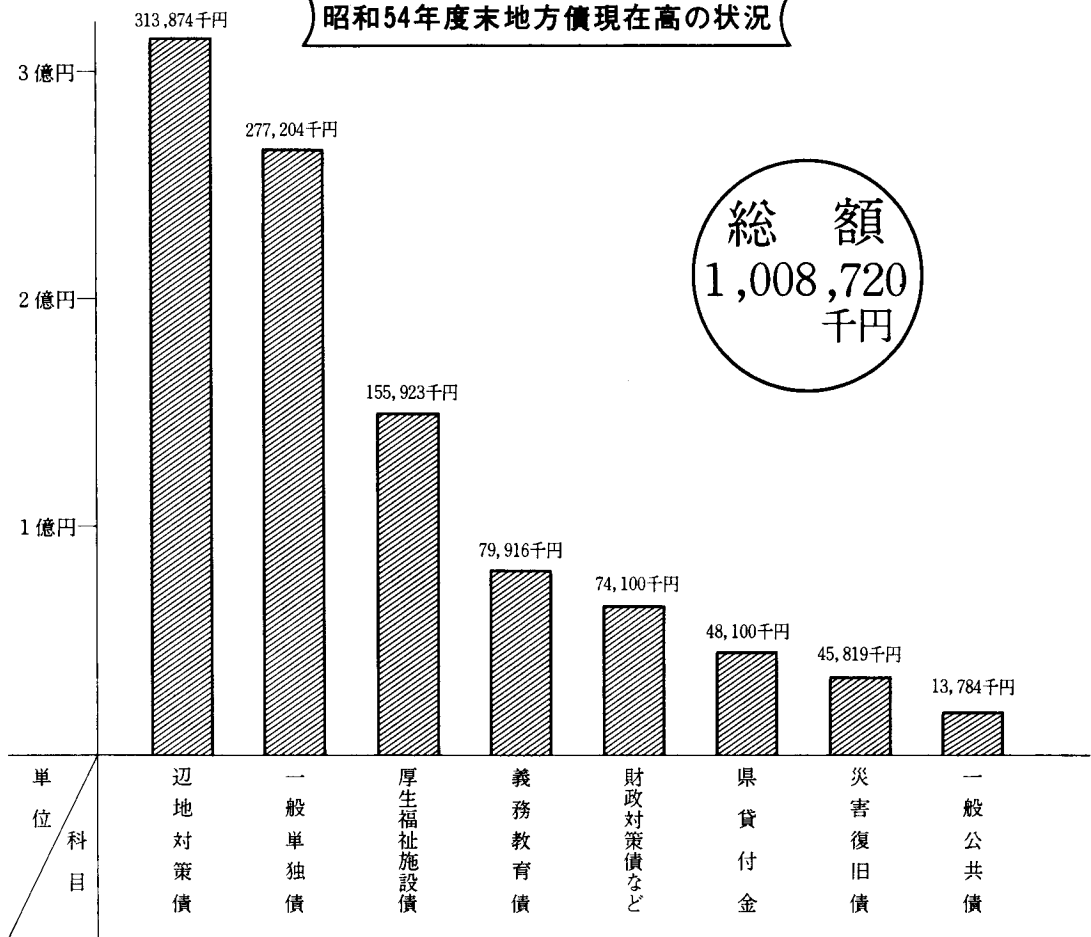
年 度	予 算 額 (A)	歳 出 (C)						歳入歳出差引
		経 常 費		臨 時 費		計		
		金 額	%	金 額	%	金 額	C/A	
50	948,766	310,822	33.7	612,573	66.3	923,395	97.3	34,890
51	794,866	319,658	41.3	454,966	58.7	774,624	97.2	38,424
52	1,063,372	646,081	63.7	368,389	36.3	1,014,470	95.4	41,882
53	1,259,667	826,706	67.4	400,260	32.6	1,226,966	97.4	30,415
54	1,088,746	587,900	56.0	462,078	44.0	1,049,978	96.4	62,127

《昭和54年度における主な事業の内訳》

(単位千円)

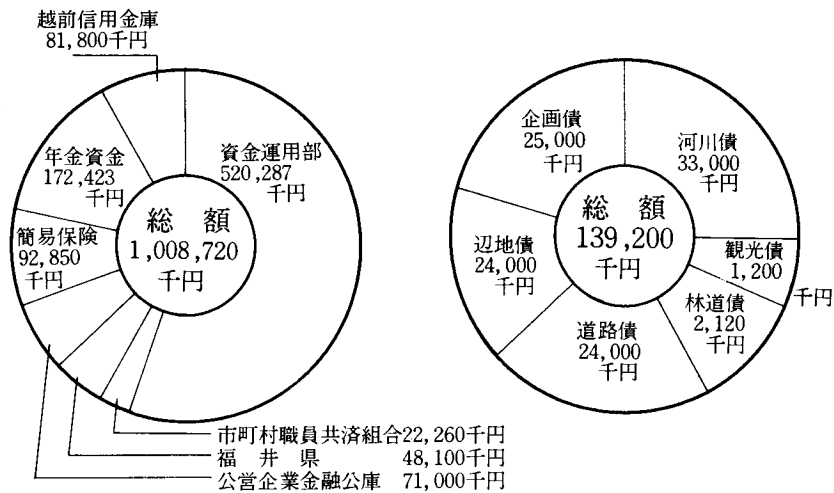
区 分	事 業 名	金 額	財 源 内 訳					備 考
			国庫支出金	県支出金	起 債	その他	一般財源	
総 務 費	村民生活安定資金貸付事業	2,500					2,500	
	住 宅 資 金 貸 付 事 業	14,000					14,000	
	特定山村振興対策パイロット事業	90,403		40,824	25,000		24,579	林間広場整備 球技場・プール 10,000 25,000 46,648
	村 有 林 造 林 事 業	16,653		11,113			5,540	
	下山・上大納・中竜地区テレビ 改良事業補助	954					954	
	自動車購入事業 (クラウン)	1,945					1,945	
衛 生 費	下大納・朝日地区環境整備	5,200		1,666			3,534	
	大野市し尿処理場改造工事負担金	10,000					10,000	
	清掃センター附帯工事	2,000					2,000	
農林水産業費	上大納農道新設事業	4,245		1,350			2,895	
	川合・朝日水路改良事業	4,633					4,633	
	林 道 改 良 事 業	36,351		12,992	10,200		13,159	
	林業構造改善事業	64,924		45,422	11,000		8,502	仏谷・鮭ヶ洞
	おうれん栽培事業	5,247		4,061			1,186	
	淡水漁放流事業	1,500					1,500	
商 工 費	穴馬総社前広場整備	4,000		2,000			2,000	
	テニスコート整備事業 (4面)	25,000		12,500	12,000		500	
	商工振興資金預託金	20,000				20,000		
土 木 費	道路新設改良事業	34,456			26,300		8,156	
	自動車購入事業(ジープ)	1,170					1,170	
	橋梁新設改良事業	48,300	32,000		16,000		300	
	県道等改良事業負担金	10,642					10,642	
	河 川 改 修 事 業	35,000			33,000		2,000	
教 育 費	教職員住宅購入事業	3,869					3,869	
	朝日中木造校舎改修事業	1,580					1,580	
	結婚式場設備事業	2,850					2,850	

昭和54年度末地方債現在高の状況



昭和54年度末借入先別現在高

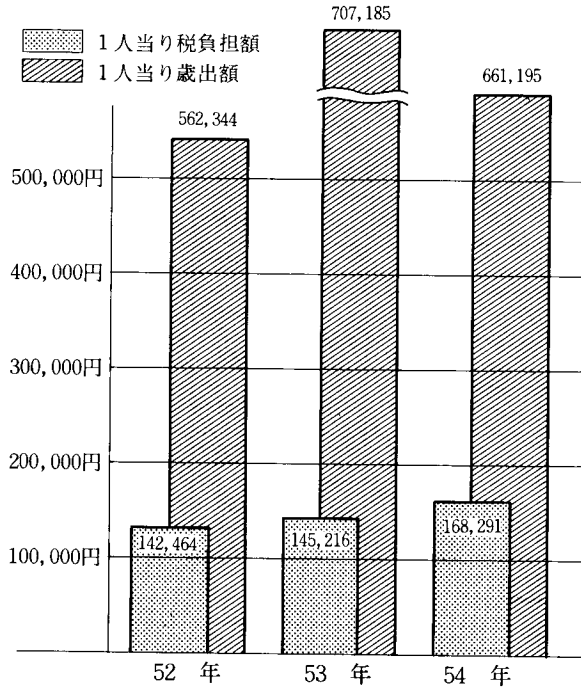
昭和54年度借入債の事業別内訳










特別会計の昭和54年度末現在高

特別会計名	金額
簡易水道事業	38,524千円
村営スキー場事業	66,800千円

《村民1人当り税負担額と歳出額の年度別比較》




1世帯当り  (487世帯)	村税負担額	1人当り  (1,588人)
69,012円	村民税	21,164円
442,115	固定資産税	135,586
1,140	軽自動車税	349
11,737	たばこ消費税	3,599
4,109	電気税	1,260
15,657	鉱産税	4,802
2,008	木材引取税	616
2,984	特別土地保有税	915
548,762	計	168,291

建物延べ 18,663.45㎡ 宅地 14,934.17㎡ 	山林 11,479,875.00㎡ その他 55,485.95㎡	有価証券 940千円 
公有財産の状況 昭和55年3月31日現在		
基金 財政調整基金 100,326,139円 土地基金 113,000,000円 国民年金印紙購入基金 200,000円 住宅資金貸付基金 32,700,000円 災害救助資金 306,805円 	出資金 6,100千円 	自動車 8台 ダンプトラック 1台 マイクロバス 1台 除雪機械 6台 

昭和54年度 特別会計決算の 状況


簡易水道事業

歳入 23,729,164円
 歳出 23,531,177円
 歳入歳出差引 197,987円
 給水世帯 261世帯
 給水人口 859人



農業共済事業

歳入 6,401,162円
 歳出 6,084,139円
 歳入歳出差引 317,023円
 引受戸数 94戸
 引受面積 2,224 a
 引受数量 55,081kg



国民健康保険事業

歳入 37,366,415円
 歳出 33,333,441円
 歳入歳出差引 4,032,974円
 被保険者数 330人
 1人当り保険税 26,463円
 1人当り療養費 76,975円


診療所事業

歳入 23,260,923円
 歳出 22,303,172円
 歳入歳出差引 957,751円
 病床 一般6床、伝染病12床
 診療所数 一般1、歯科1



村営スキー場事業

歳入 47,977,558円
 歳出 47,608,654円
 歳入歳出差引 368,904円
 リフト 3基
 利用者 118,000人



《昭和55年度上半期の財政運営状況》

〈歳 入〉

(単位：千円)

区 分	当初予算	補正額	現計予算	収入済額	収入率
村 税	257,949	—	257,949	118,164	45.8
地 方 譲 与 税	5,600	—	5,600	2,027	36.2
自 動 車 取 得 税 交 付 金	6,000	—	6,000	2,811	46.9
地 方 交 付 税	335,000	16,455	351,455	257,413	73.2
交通安全対策特別交付金	10	—	10	—	—
分 担 金 及 び 負 担 金	6,655	—	6,655	868	13.0
使 用 料 及 び 手 数 料	2,521	1,499	4,020	2,138	53.2
国 庫 支 出 金	65,156	9,910	75,066	8,020	10.7
県 支 出 金	94,750	3,095	97,845	1,539	1.2
財 産 収 入	8,683	6,746	15,429	8,183	53.0
寄 付 金	10	—	10	—	—
繰 入 金	30,000	43,000	73,000	—	—
繰 越 金	20,000	42,127	62,127	62,127	100.0
諸 収 入	24,463	—	24,463	3,018	12.3
村 債	245,200	—	245,200	—	—
計	1,101,997	122,832	1,224,829	466,308	38.1

〈歳 出〉

(単位：千円)

区 分	当初予算	補正額	現計予算	支出済額	支出率
議 会 費	25,607	250	25,857	11,488	44.4
総 務 費	196,366	21,385	217,751	118,552	54.4
民 生 費	53,524	3,172	56,696	24,184	42.7
衛 生 費	24,231	2,525	26,756	14,660	54.8
労 働 費	786	—	786	33	4.2
農 林 水 産 業 費	144,176	—	144,176	36,825	25.5
商 工 費	196,358	57,527	253,885	33,248	13.1
土 木 費	165,633	100	165,733	35,054	21.2
消 防 費	22,386	—	22,386	15,609	69.7
教 育 費	99,262	9,401	108,663	46,564	42.9
災 害 復 旧 費	30,418	970	31,388	4,716	15.0
公 債 費	138,379	—	138,379	63,664	46.0
諸 支 出 金	10	27,502	27,512	15,495	56.3
予 備 費	4,861	—	4,861	—	—
計	1,101,997	122,832	1,224,829	420,092	34.3

秋のスポーツ行事終わる 錦秋にさわやかな汗

和泉村教育委員会・和泉村体育協会

九頭竜の山々が美しく紅葉し、綿織りなす中で、各種スポーツ行事が華やかに催された。

まず十月十八日(土)には、第九回和泉駅伝が行われ、一般四チーム、中学八チームが力走。一般は壮友会、中学は大納中Aが優勝した。

続く十月二十一日(火)、二十二日(水)には、秋季バレーボール大会が行われ連夜に熱戦を展開。男子は七チームの中より石徹白水系(九頭竜)チームが優勝、女子は三チームのリーグ戦を二度行い、いずれも中竜チームが優勝した。

十月二十五日(土)、二十六日(日)に行われる予定の「九頭竜紅葉まつりテニス教室」は、あいにくの雨模様のため止むなく中止となったが、村内のテニス愛好者の多数申込は、次の機会に生かされよう……。

十一月に入って、八日(土)には、第四回村スポーツ少年団球技大会が行われ、未来をに

なう子供たちの力強いプレーが、バトミントンやミニバスケットやポルトボールにそれぞれ展開された。

続く九日(日)には、第三回和泉健康マラソンが行われ、小学男女、一般男女、合わせて百余名が参加。それぞれのペースで完走を旨とし、秋季大会の有終の美を飾った。主な記録は次のとおりです。

第9回駅伝競走大会成績

		(区間賞)		時間
一般の部	1 区間	洞口 一夫 (貝 皿)		10分46秒
	2 区間	古川 渉 (川 合)		11分03秒
	3 区間	畑口 栄治 (貝 皿)		13分41秒
	4 区間	畑口 博文 (貝 皿)		
	5 区間	岡田富士雄 (川 合)		14分44秒
中学の部	1 区間	道願武次郎 (上大納)		11分45秒
	2 区間	丹 桂吾 (大納中)		9分47秒
	3 区間	松田 勝人 (大納中)		10分11秒
	4 区間	深谷 雅彦 (朝日中)		12分39秒
	5 区間	鷲見 隆信 (朝日中)		14分18秒
		村木 光彦 (大納中)		12分17秒

第3回健康マラソン成績

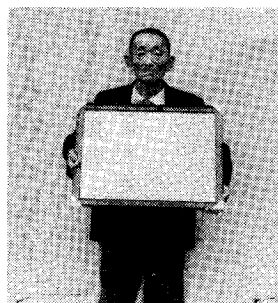
5.5キロ		3.3キロ		一般男子 (50歳代)		次勝	飯村 則子 (上大納)
一般男子の部		一般男子 (30歳代)		優勝	畑口 栄治 (貝 皿)	三位	竹中 妙子 (上大納)
優勝	道願武次郎 (上大納)	優勝	山崎 巖 (上大納)	中学女子の部		小学男子の部	
次勝	三村 悟 (上大納)	次勝	島田 昭信 (貝 皿)	優勝	稲郷 暢恵 (朝日中)	優勝	長谷部弘幸 (大納小)
三位	岡田富士雄 (川 合)	三位	三島 哲一 (朝 日)	次勝	新井 幸代 (朝日中)	次勝	三島 嘉之 (朝日小)
中学男子の部		一般男子 (40歳代)		三位	宮本 美恵 (大納中)	三位	丹 昭吾 (大納小)
優勝	松田 勝人 (大納中)	優勝	古川 渉 (川 合)	2.2キロ		小学女子の部	
	村木 光彦 (大納中)	次勝	栃本 孝二 (上大納)	一般女子の部		優勝	曾根優美子 (大納小)
	尾花 朋之 (朝日中)	三位	河口 慶治 (上大納)	優勝	青野 江子 (上大納)	次勝	斉藤 恵 (大納小)
				三位		三位	山岸 弥生 (大納小)

第4回スポーツ少年団球技大会成績

●中学の部 バトミントン (ダブルス)			
優勝	(男子) 加藤 住 / 朝日第 2分団 加藤 圭治 / 2分団	(女子) 稲郷 暢恵 / 朝日第 2分団 大島千賀子 / 2分団	
次勝	中屋克己 / 朝日第 2分団 尾花朋之 / 2分団	前田 美樹 / 中竜第 2分団 加賀千恵子 / 2分団	
三位	田畑義美 / 中竜第 2分団 石沢康之 / 2分団	伊藤 留美 / 中竜第 2分団 青野ひとみ / 2分団	
●小学の部			
	ポルトボール (4年)	ミニバスケッ (5年)	ミニバスケッ (6年)
優勝	中竜第1分団	朝日第1分団	中竜第1分団A
次勝	朝日第1分団	中竜第1分団A	朝日第1分団

新井太郎佐氏 (川合六十九歳) 大臣表彰を受賞

十月二十日、県産業会館で県農業委員大会が開かれ、本

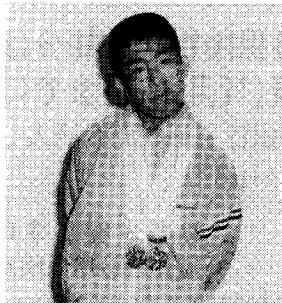


村の新井太郎佐氏が農業委員会功労者として農林水産大臣表彰を受賞しました。
なお、新井氏は、昭和三十一年九月に和泉村農業委員に就任して以来、委員を十九年会長を一期勤め現在も委員会の長老として農政に取り組まれております。

銅メダル二個を獲得 ◆全国身障者スポーツ大会◆

十月二十五・二十六の両日栃木県宇都宮市で第十六回全国身障者スポーツ大会が開催されました。

同大会に本県選手として出場した本村の阿部孝寿君は、右上肢障害ソフトボール投げと卓球でそれぞれ三位に入り



銅メダル二個を獲得しました。

年末調整

十二月は、サラリーマンが月々の給料やボーナスから源泉徴収された税金と、一年間の給与総額に対する税金との差額を精算する年末調整の月です。

この年末調整は、サラリーマンにとって確定申告に代る大切な手続で、大部分のサラリーマンは、この年末調整によってその年の納税が完了します。

そこで、次に該当する人は年末調整のとき、所得や税金からの控除などに関係がありますから、年末調整に間に合うように、できるだけ早く各

種控除申告書を勤務先に提出してください。

- 一、今年中に扶養親族等に異動があった人で、まだ異動申告書を提出していない人
- 二、国民健康保険料や生命保険料、損害保険料などを支払っている人
- 三、昨年か一昨年に確定申告によって住宅取得控除を受けた人など。

◆減額は生涯つづく

国民年金の繰上げ請求
国民年金の老齢年金と通算
老齢年金は、六十五歳から支

新時代本気で省エネ

根気で貯蓄

資源・エネルギーの制約がますます強まり、物価の先行きも予断を許さない情勢です「生活の見直し」を更に深め量から質への生活意識の転換と「お金と物を大切に」生活態度の一層の定着化をはかりましょう。

給されます。しかし、年金を受ける条件を満たしていれば六十歳から六十四歳までの間なら、いつでも希望するときに繰りあげて支給を受けられます。

ただし、その年金額は、次の表の通り、四十二%から十一%も減額されます。一たん繰りあげ支給を受けると、この減額は生涯続いて、取り消しができません。繰りあげ支給を請求するときは、よく考えてください。

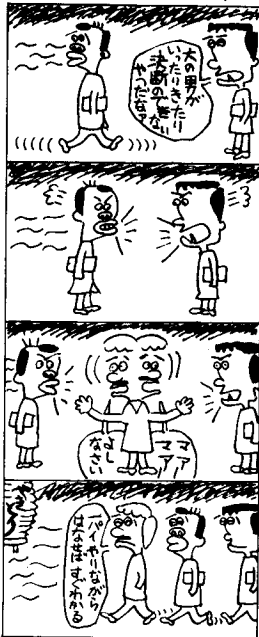
一方、事前に申請して、六十五歳から年金を受けずに、六十六歳から七十歳までの間に受け始めると、年金額が十二%から八十八%も増額されます。繰り上げ支給という制度もあります。

詳しいことは、役場(年金係)へおたずねください。



年賀状の差し出し準備を

水さし No150
カゴヤ
お山みお



《くり下げ受給》

受け始める年齢	受給率
66歳以上67歳未満	112%
67 " 68 "	126%
68 " 69 "	143%
69 " 70 "	164%
70歳以上	183%

《くり上げ受給》

受け始める年齢	受給率
60歳以上61歳未満	58%
61 " 62 "	65%
62 " 63 "	72%
63 " 64 "	80%
64 " 65 "	89%

何歳から受給するかは、あなたがきめてください。

65歳

100%

人のうごき

▼赤ちゃん誕生

上大納 佐々木享 徳一次男



(享ちゃん)

労働保険料第3期分は納期限(12月1日)までに!!

最寄の銀行・郵便局へ納入してください。

福井労働基準局
福井県雇用保険課